

令和6年度小学校AIドリル教材及び授業支援ソフトウェア調達 評価基準

評価項目		評価基準	評価						
			A	B	C	D	E	F	
提案内容	実績及び搭載機能	・他自治体へのサービス提供実績を踏まえ、円滑な履行が期待できる。 ※メーカー実績(当該サービス提供実績等)、販売店の事業概要及び事業実績	5	4	3	2	1	0	
		・様式3「機能要件一覧表兼調査票」の必須項目に「対応不可」がある場合は失格とする。 ・任意項目に「対応可」がある場合は、各項目につき1点を加算する。	7	5	4	3	1	0	
	ドリル機能	ユーザーインターフェース	・児童用及び教員用の画面設計が、視認性・操作性に優れているか。	5	4	3	2	1	0
		問題の品質	・問題の品質は優れているか。 ・基礎から応用まで幅広い難易度の問題が用意されているか。	10	8	6	4	2	0
		管理機能	・児童の学習結果を一元的に管理でき、指導や評価に活用しやすいか。	5	4	3	2	1	0
		AI機能	・個別最適な学びの実現が期待できるか。 ・課題配信時等に教員の負担軽減が期待できるか。	5	4	3	2	1	0
	授業支援機能	ユーザーインターフェース	・児童用及び教員用の画面設計が、視認性・操作性に優れているか。	5	4	3	2	1	0
		協働学習機能	・協働的な学びの充実が期待できるか。 ・学習状況把握時等に教員の負担軽減が期待できるか。	10	8	6	4	2	0
		管理機能	・児童の学習結果を一元的に管理でき、指導や評価に活用しやすいか。	5	4	3	2	1	0
		教材作成の容易さ	・教材作成時等に教員の負担軽減を期待できるか。 ・豊富なテンプレート(教材の素材)が用意されているか。	5	4	3	2	1	0
サポート体制		・操作方法や活用事例紹介等の研修コンテンツが充実しているか。 ・問合せ窓口の体制やサポートサイトの内容は十分であるか。	5	4	3	2	1	0	
自由提案		・仕様書に記載のないサービスや機能等について、提案内容が優れているか。	8	6	5	4	2	0	
価格	価格	{(提案上限額－提案見積額)／(提案上限額－算定基準価格)}×配点(25点)	25						
合 計			100						

評価点:A(極めて優れている)、B(優れている)、C(普通)、D(やや劣る)、E(劣る)、F(提案なし)